

**これだけ
起こっている!**

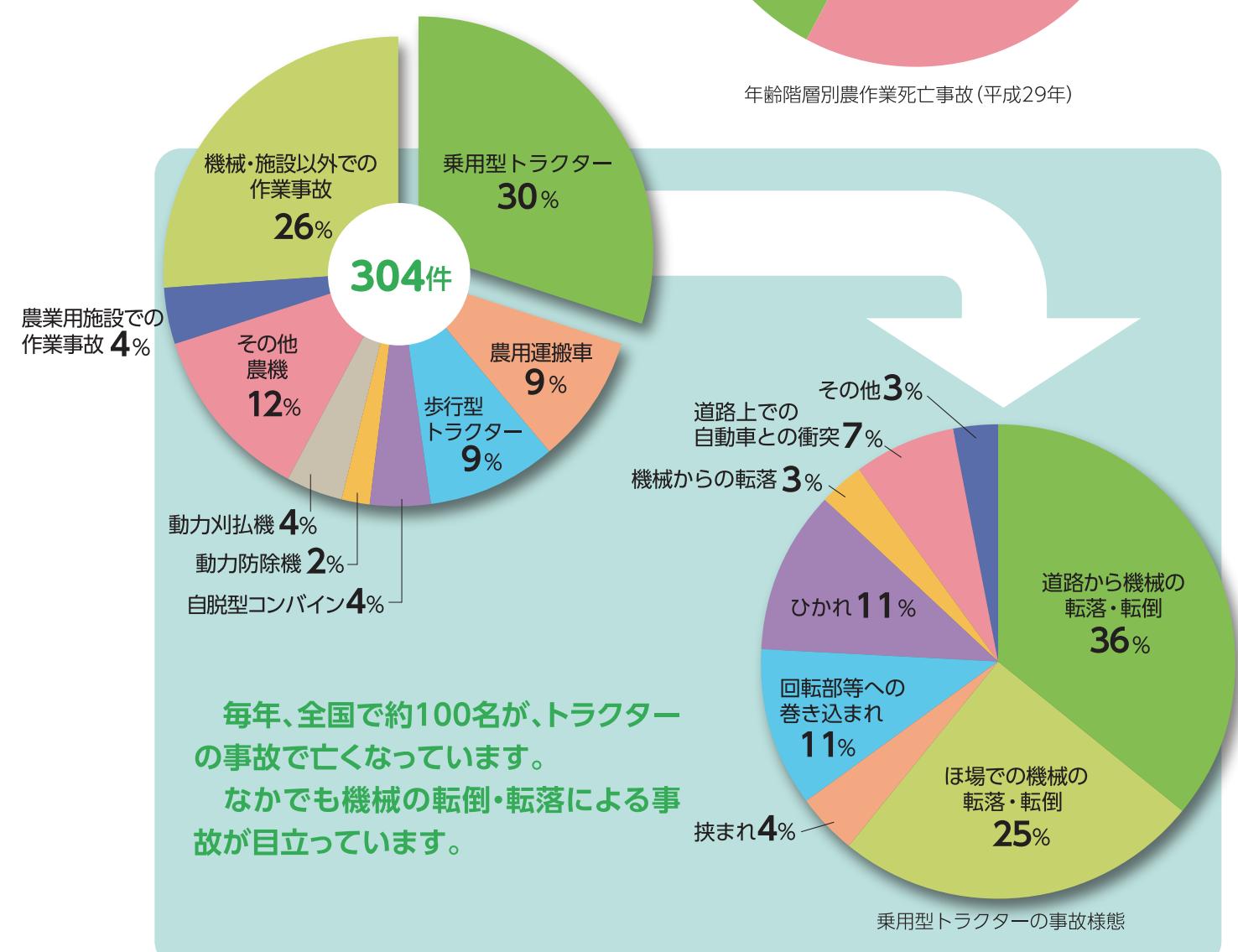
農作業死亡事故

高齢者による事故がおよそ8割を占めています。

自らの操作技術を過信せず、余裕
を持った農作業を心がけましょう!!

また緊急時の連絡のために携帯電話を持ち歩きましょう。

農作業死亡事故の内訳(平成29年)



毎年、全国で約100名が、トラクターの事故で亡くなっています。

なかでも機械の転倒・転落による事故が目立っています。

監修 兵庫県立農林水産技術総合センター ☎ 0790-47-2440

企画調整・経営支援部、農業技術センター 農産園芸部

発行・編集 兵庫県農産園芸課 ☎ 078-362-3494
兵庫県農業機械化協会 ☎ 0790-47-1536

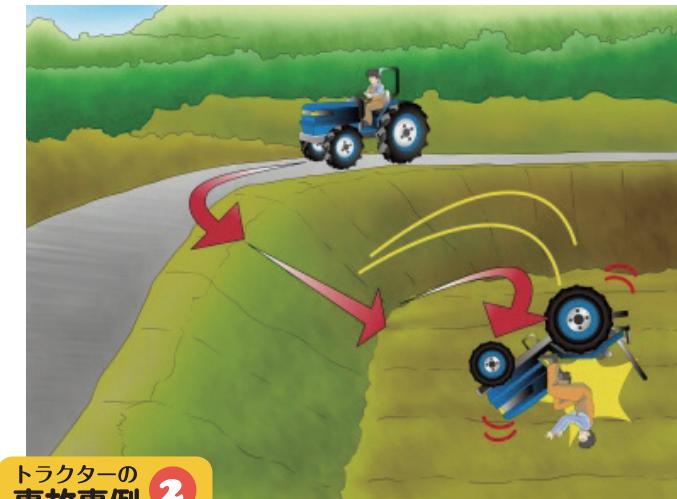
兵庫県農産園芸課 ☎ 078-362-3494

兵庫県農業機械化協会 ☎ 0790-47-1536

事故事例に学ぶ トラクター事故防止 対策



トラクターの
事故事例



トラクターの 事故事例

トラクターにあぜ塗り機を装着して、農道から1.5m下の水田に、法面角度30～35度のあぜを近道して斜めに入ろうとした。バランスを崩したトラクターは、U字溝の上に仰向けに転落。シートベルトを装着していないかったため、トラクターから投げ出されU字溝の角で頭を強打した。

トラクターで移動中、ゆるい下り坂のカーブの手前で減速のためブレーキを踏んだ。しかし左右独立のブレーキペダルを連結していなかったため片ブレーキとなり、急旋回したトラクターは水田へ転落。トラクターから投げ出され安全フレームと水田の隙間に。幸い腰の打撲のみで済んだが、さらにシートベルトをしていれば身体を守ることができたのに…。

安全キャブ・フレーム付きの トラクターを導入しましょう!!

安全装置の装備等により、農業機械の安全性は向上しています。例えば、乗用型トラクターの安全キャブ・フレームは、転落・転倒時の死亡率を1/8に抑える等の高い効果が認められています

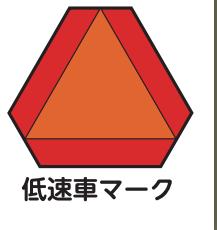


安全キャブ・フレームのあるトラクターでは、シートベルトを装着することで、安全域の中に身体を固定でき、転倒した際に身体を守ることができます。



追突事故防止 !!

後方から接近する一般自動車との追突事故を防ぐため低速車マークを装着しましょう。



フレーム付きトラクターでの シートベルト着用を 徹底しましょう。